

復職支援センター（おかえりナース）利用者 インタビュー

東名古屋病院 40代看護師

Q1 復職支援センター（おかえりナース）をどのように知りましたか？

A1 国立病院機構で看護師長をしている先輩に「国立病院機構に戻りたい」と相談した際におかえりナースを教えてくださいました。

Q2 おかえりナースに登録しようと思ったのはなぜですか？

A2 先輩に相談した際に登録を勧められたので登録しました。

Q3 おかえりナースをどのように利用しましたか？

A3 おかえりナースの担当者とメールでやり取りをしていました。
就職を希望する病院を伝えて、その病院の募集情報を教えてくださいました。

Q4 おかえりナースを利用してみた感想はいかがでしたか？

A4 病院に募集をしているか電話で確認することも勇気がいるので、メールでやりとりができたのは、ストレスがかからず良かったです。

Q5 国立病院機構に戻ってこようと思ったのはどのような理由ですか？

A5 誘われて訪問看護に転職しましたが、前残業・残業ともに時間外手当が毎日出ない、職員が新型コロナウイルス感染症に罹患した時の就業停止期間が短い等、勤務時間管理や休暇制度が国立病院機構と違っていました。
国立病院機構は福利厚生がしっかりしているため、今まで恵まれていたのだと再認識し、戻ろうと思いました。
また、国立病院機構は感染対策や看護物品の整備、接遇やカンファレンスで話し合う内容などがしっかりしており、看護についての意見交換ができることも戻ろうと思ったきっかけです。

Q6 国立病院機構をいったん離れる前と復職した今とで異なる点はありますか？

A6 転職した訪問看護では孤独感を感じていたため、改めて自分がみんなと看護を実践することが好きだとわかりました。

